



第38回

意見を詳しく伝えよう

～詳しいことは後で言う～

学習のポイント

- thatの後に思いを詳しく言える
- thatの後に聞いたことを詳しく言える

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

■コミュニケーション

日本語では、「明日雨が降ると思います」とか、「もっと話し合ったほうがよいと思います」などと、まず知っていることや意見を先に述べ、その後で自分はそう思っているのだ、と言います。

明日雪が降る と 思います。

もっと話し合ったほうがよい と 思います。

英語では反対に、自分がそう思っている、と最初に言い、その後 **that** を付けて、知っていることや意見を詳しく述べます。

I think **that** it will snow tomorrow. (明日は雪が降ると思います)

I think **that** we should discuss more. (もっと話し合った方がよいと思います)

もちろん、自分がそう思うのであれば **I** を使いますが、相手がそう思うのであれば **you** を、亮がそう思うのであれば **Ryo** を使います。

You think **that** the movie is interesting. (君はあの映画がおもしろいと思っている)

Ryo thinks **that** young people should clean the community.

(亮は、若い人は自分たちの住んでいる地域を清掃すべきだと思っている)

質問の文を作るのであれば、便利屋さんの **do (does)** を使って、

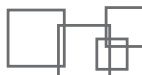
Do you think **that** the train will come on time?

(列車は時刻どおりに来ると思いますか?)

Does Hina think **that** we should stay home?

(日梨は私たちは家にいるべきだと思っていますか?)

と表現します。



■ 単語や表現

同じような表現に、I know that 「～を知っている」、I believe that 「～だと強く思う」、I suppose that 「～だと思う」、I hear that 「～だと聞いている」、I (can) tell that 「～だとわかる」、I understand that 「～だと理解する」、I hope that 「～だといいと思う」などがあります。どれも that の後で自分の考えていることを詳しく述べています。

I know that ～ [何を知っているのかを詳しく述べる]

I know that he wants to come to the party. (彼がパーティーに来たいことは知っている)

Everyone knows that Ryo is a good actor.

(誰も亮がいい役者だと言うことは知っている)

Do you know that Philip is going to get married?

(フィリップが結婚するということを知っていますか?)

I believe that ～ [そうだと思っていること、そう信じていることを詳しく述べる]

We do not believe that the money will be payed back.

(私たちはそのお金が戻ってくるとは思っていない)

Can you believe that Hina is going to participate in the Olympic games.

(日梨がオリンピックに出るなんて信じられる?)

I suppose that ～ [おそらくそうだと思っていることを詳しく述べる]

I suppose that you are right. (君のほうが正しいと思うがね)

We suppose that everyone is happy about that.

(私たちは、皆がそれに満足していると思っている)

Most Americans suppose that he will be the next President.

(アメリカ人のほとんどが彼が次の大統領になると知っている)

I hear that ～ [人から聞いて理解していることを詳しく述べる]

I hear that you are going to move to Osaka. (君が大阪に引っ越すって聞いているけど)

Have you heard that a big typhoon is coming. (大型の台風が来るって聞いた?)

We heard that Naomi got influenza. (直美がインフルエンザにかかったって聞きました)

I (can) tell that ～ [よくわかっていることを詳しく述べる]

I can tell that you really enjoyed the summer vacation.

(君が夏休みを十分楽しんだことはよくわかるよ)

We can tell that Ryo studied for the entrance exams very hard.

(私たちは亮が入学試験のために一生懸命勉強したことをよくわかっている)

No one can tell that Hina is angry about the casting.

(誰も日梨がその配役に怒っているということをわかっていない)

I understand that ~ [理解している内容を詳しく述べる]

I understand that a new library will open next month.

(新しい図書館が来月開館することをよく知っています)

People understand very well that smoking is bad for the health.

(喫煙が健康に悪いことは皆よくわかっています)

I hope that ~ [そうなればよいと願っていることを詳しく述べる]

I hope that everyone is all right. (みんな大丈夫だといいんだけど)

We hope that you will have a good time in Japan.

(日本での滞在が楽しいものになるよう祈っています)

Mr. Sato hopes that he will find a good job.

(佐藤さんは〈自分に〉いい仕事が見つかるよう願っている)

■英語のきまり

日本語では、どちらの言い方が普通でしょうか、

明日雨は降らない と 思う。

明日雨が降る と 思わない。

日本語では1番目の言い方のほうが普通です。では、英語ではどうでしょうか、

I think that it will not rain tomorrow.

I don't think that it will rain tomorrow.

おもしろいことに、英語では反対に2番目のような言い方の方が一般的です。

思うに、英語では雨が降るか降らないかを判断するのは自分であるとの意識が強いのではないからでしょうか。日本語でも「雨が降ると思わない」と言うこともあります。これは一種の強調表現であって、一般的に雨が降る降らないは自分が決めるのではなく、自然が決めることであり、自分たち人間はそれを「思う」という言葉で予測するだけであると考えからではないでしょうか。自己の判断を優先させて表現する英語、自然のことは自然が決める考える日本語、ということになるのでしょうか。



thatの省略

今までの例文には、I think that ... のように、すべて that を付けてきましたが、この that は省略することもできます。むしろ会話などでは、省略するほうが普通です。

I think that this TV English program is interesting. [正式な言い方]

I think this TV English program is interesting. [くだけた言い方]

Do you think (that) Hina will be able to debut on Broadway?

(日梨はブロードウェイでデビューできると思いますか?)

Naomi does not know (that) Philip wants to play a leading role next time.

(次回フィリップが主役をやりたいがっているのを直美は知らない)

We hope (that) all the viewers of this program will be able to communicate in English well.

(私たちは、この番組のすべての視聴者の皆さんが英語でうまくコミュニケーションできるようになることを願っています)

